

## 安全データシート

**SECTION 1. PRODUCT AND COMPANY IDENTIFICATION 化学品及び会社情報**

化学品の名称 : リア鏡  
 製品コード : SH081370 / SH078299  
 供給者の会社名 : 日酸TANAKA株式会社  
 住 所 : 埼玉県入間郡三芳町竹間沢11番地  
 担当部門 : FA事業部 国内営業部  
 連絡先(電話番号) : 049 (258) 4412  
 緊急連絡先 : 同上

**SECTION 2. HAZARDS IDENTIFICATION 毒性情報**

EC 指令においては、危険と分類されていません

**SECTION 3. COMPOSITION / INFORMATION ON INGREDIENTS 組成・成分情報**

原料名	質量比%	C. A. S. 番号	EC 番号 (EINECS)	EU Index	UN No.
Germanium	100	7440-56-4	231-164-3	Not Listed	Not Listed

**SECTION 4. FIRST AID MEASURES 応急処置**

目に入った場合: 水で洗い流してください。痛みや炎症が続く場合には、医師の診断を受けてください。  
 皮膚に接触した場合: 接触した部分を温水と石鹸で洗浄してください。  
 吸引した場合: 現場から空気の新鮮な所へ移動して下さい。早急に医師の診断を受けてください。  
 飲み込んだ場合: 十分に口を洗浄してください。早急に医師の診断を受けてください。

**SECTION 5. FIRE FIGHTING MEASURES 火災時の措置**

消火剤: 推奨される具体的な薬剤はありません。  
 引火点と引火要因: 該当なし  
 異常な火災の危険性: 不明

**SECTION 6. ACCIDENTAL RELEASE MEASURES 事故時の対応**

汚染物の洗浄: 暴露防止/保護措置の対象となる適切な保護服および備品の着用をすること。適切な廃棄の為にまとめて容器にいれ、塵の発生を防いでください。

**SECTION 7. HANDLING AND STORAGE 取り扱い及び保管上の注意**

使用上の注意: 物理的ダメージから保護してください。粉塵の発生を回避してください。  
 保管上の注意: 特別な注意事項はありません

**SECTION 8. EXPOSURE CONTROLS / PERSONAL PROTECTION 曝露防止及び個人的保護措置**

ポリビニルアルコール (PVA) 製の保護手袋が必要です。防護服の使用を推奨致します。カケやほこりの発生の可能性がある場合は、安全ゴーグルまたはサイドシールド付き安全メガネが必要です。許容基準内に管理できない場所では、一般的な換気装置や局所換気を使用してください

**OCCUPATIONAL EXPOSURE LIMITS 作業曝露限界 (OEL)**

= 10mg/m3 Inhalable; Particulates (Insoluble) (PNOS) 8 hour Time Weighted Average  
 = 5mg/m3 Respirable; Particulates (Insoluble) (PNOS) 8 hour Time Weighted Average

**SECTION 9. PHYSICAL AND CHEMICAL PROPERTIES 物理的及び化学的特性**

外観:	鉄灰色 幾何学的形態, 無臭.
水溶液中の Ph:	該当なし
沸点 (760mm Hg)	2830°C
融点:	937.4°C
引火点:	該当なし
可燃性:	該当なし
爆発性:	該当なし
比重:	5.323
蒸気圧:	該当なし
溶解性:	不溶性

**SECTION 10. STABILITY AND REACTIVITY 安定性及び反応性**

安定性:	通常の保管や使用では安定
有害反応性:	濃硝酸と硫酸でゆっくりと反応します。 アルカリ性 過酸化水素 (H2O2) もしくは 次亜塩素酸ナトリウム (NaClO) 水溶液 においては、急速に酸化を起こします。 塩酸 (HCL) との接触は、揮発性四塩化ゲルマニウム GeCl4 を発生させる。塩素または臭素と接触して発火することがあります。
避けるべき条件:	酸と酸化剤

**SECTION 11. TOXICOLOGICAL INFORMATION 毒性情報**

毒性データ - LC50 Inhalation dusts:	> 5000 mg/m3 rat 4 hours
発癌性:	発がん性の証拠無し
変異原性/催奇形性:	影響する証拠無し
有害性調査結果:	動物実験では、亜急性暴露 (50mg/m3) 後に肺炎が発生することが示されています。10mg/m3 おいて亜急性暴露し 4 週間後経過しても毒物学的影響は観察されなかった。しかしながら、機械加工した場合に発生した、粒子や粉塵が発生した場合は、細心の注意を払う必要があります。

**SECTION 12. ECOLOGICAL INFORMATION 環境保全情報**

材料が適切に取り扱われ処理されている限り、環境上の危険性はない。

**SECTION 13. DISPOSAL CONSIDERATIONS 廃棄上の注意**

化学的残留物は通常、特別廃棄物として分類され、地域によって異なる規制の対象となります。廃棄物処理業者に連絡するか、化学処理業者により適切な処理を行うこと。

**SECTION 14. TRANSPORTATION INFORMATION 輸送情報**

輸送規制の対象にはならない

**SECTION 15. REGULATORY INFORMATION 規制情報**

分類:	EC 指令においては、危険と分類されておりません。
提供用のラベル:	該当なし
リスクフレーズ:	該当なし
セーフティフレーズ:	該当なし

**SECTION 16. OTHER INFORMATION 他情報**

Revision Date: January, 2016

The above information is believed to be correct but does not purport to be all inclusive and must be used only as a guide.  
上記の情報は正しいと考えられていますが、包括的であるとみなさず、ガイドとしてのみ使用する必要があります。